

わたし、
いい人でいるの
やめた。



我が家も毎日が「夫婦やめた」状態だ。
でも、お互いが必要とする気持ちと信頼が、
「言葉」を超越したコミュニケーションを育んできたと思う。
「コミュニケーションとはなにか？」と考えるとき、
本作から得られるヒントは多いはずだ。
くらげ（ボクの彼女は発達障害）著者

自分とは異なるバックグラウンドを持つ人たち同士が
どうすればうまく共存できるのか、という本質的な問題について、
理想論だけではない感情の部分まで示している。
それは、簡単に答えが出るものではないかもしれないが、とても大切な問題だ。

——— 本田秀夫（精神科医）



あなたの常識は、わたしの非常識。 わたしの普通に、あなたはドン引き。

空気を読みにすぎて疲れてしまい、人と器用につき合うことができない、アスペルガー症候群の、まあちゃん。理解があるような顔で、内心悶々としたものをかかえる、映画監督のわたし。些細なことで、ふたりの仲がギクシャクするたび、これって、彼女がアスペだから？ それとも、わたし自身の問題なの？ わかり合おうとしなくちゃ…いい人でなくちゃ…ああ、でも！ まあちゃんと友達でいるために、わたしは自分たちに向けてカメラを回しはじめた…はずが、たどりついた答えは、友達やめた？！



めんどくさくって尊い、 個×個、心×心のドキュメンタリー！

コミュニケーションの壁に苦しむ自身の姿を、エイヤ！と晒した『Start Line』から4年、生まれつき耳のきこえない映画監督 今村彩子が、新たな葛藤と向きあう。人と人ってほんとうに分かる？ 友達って何？ 普通ってどういうこと？ わたしたちを縛るやっかいな“常識”を捨て、もっと自由に軽やかに、心と心を重ねあう。ヒリヒリして、イラッときて…でも何だかほっこりする、まあちゃんとわたし、ふたりの“違い”から生まれたものがたり。



書籍発売中……………
「スタートラインに続く日々」
今村彩子監督初の単著。『友達やめた。』の原作にも
いえる「アスペのまあちゃん」収録。原作『Start
Line』の舞台裏とその後の推した、「ちょっぴり
タココ悪い」映画監督のこれまでにこれらを綴った
エッセイ集。（桜井社刊／1500円＋税）

友達やめた。

studioaya-movie.com/tomoyame f @tomodachiyamela t @tomodachiyamela

茅ヶ崎寒川地区自閉症児・者親の会主催
バリアフリー（字幕付き）上映会 「友達やめた。」

2022年12月17日（土） シンコースポーツ寒川アリーナ 1階多目的室 入場無料
午前の部 10:00～11:30（9:30開場） 午後の部 13:00～14:30（12:30開場）
※試写会 12月16日（金） 14:00～15:30（13:30開場） 茅ヶ崎市民文化会館大会議室
定員：各回30名（事前申込制、先着順） 申込み・問合せ（TEL・FAX）：0467-74-7701 小川原